

令和7年度 学校経営方針

福島町立福島中学校

1 校 訓

明 朗	明るく朗らかなこと	不正や隠し事がないこと
正 義	あるべき姿に社会や人間を正そうとする信念	
協 和	心を合わせて仲良くすること	

2 学校教育目標

(令和2年制定)

- 主体的に学び、知識を深めて個性や能力を伸ばす
- 多様性を尊重し、お互いに高め合う
- 郷土への愛着と誇りをもち、未来を創造する

～時代の変化・進展に主体的に対応できる能力と創造性の基礎を培い、
他者と協働し心豊かな生徒の育成を目指す～

3 めざす学校像

- 生徒の夢や目標を育む学校
- お互いの人間性を認め合い、支え合う学校
- 生徒の活躍や変容がみえる学校

4 めざす教師像

- 生徒とともに歩む教師 【愛情と責任感】
- 学び続ける教師 【教育のプロとしての意識と力量】
- 学校運営に積極的に参画する教師 【協働と信頼】

5 めざす生徒像(15歳の目的)

- 未来をみつめ自ら学ぶ生徒 【自己開発のための努力】
- 人間関係を切り拓く生徒 【つながる力】
- 失敗や困難を乗り越えようとする生徒 【ポジティブな思考】

6 教育目標を達成するための方針

【基本方針】

- (1) 自らの人生を切り拓くための資質・能力を着実に育成する学校を目指す
- (2) 社会の形成者となるための基盤とする力を育成する学校を目指す
- (3) 保護者、地域、異校種と本校の方向性を共有し、地域とともにある学校を目指す
- (4) 現状維持にとらわれず新しい学校文化を築く組織体制の確立を目指す

【重点教育目標】

「認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成」（3年目）

未来＝自分の将来、未来

【本年度の重点】

（１） 確かな学力の定着 ～学びの基礎となる資質・能力の育成～

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得（各教科の実践と工夫の充実）
- ② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（ICT 機器の効果的活用の実践と交流による充実）
- ③ 主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善（学習者の視点にたった改善）
- ④ 指導と評価の一体化に向けた学習評価の改善（研修と実践の充実）

（２） 社会的な自立を実現 ～魅力ある学校づくりの推進～

- ① 集団づくり・授業づくりを通じた未然防止的な生徒指導（各行事等を通じた自己有用感・自己肯定感の獲得や※ユニバーサルデザインの視点による授業の実践）
（※全ての子どもにとって「わかる・できる」授業の構築 2年目の目標：個に応じた指導の充実）
- ② 命の大切さや自らの生き方を前向きに考える教育活動（道徳の実践交流といじめ撲滅集会等の充実）
- ③ 認め合い支え合う、温かい人間関係づくりを高める指導（各教育活動における異学年交流の充実）
- ④ 生徒主体による教育活動（生徒会活動）の充実（生徒の主体性、自主性の向上）

（３） 学びと育ちを支える学校づくりと異校種連携

- ① 情報連携・行動連携など、交流や研修をもとに小中高の円滑な接続（確実な学力、生徒指導情報の交流）
- ② 豊かな心を育成するため小中高と連携して教育活動の工夫・改善（福島アカデミーの交流行事と授業参観交流の活用）
- ③ 保護者や地域住民へ本校教育活動の積極的な公開と発信（HP 活用の充実）
- ④ 学校運営協議会制度を活用して教育活動の改善・充実（より良い教育のための生徒との意見交流と学校支援についての熟議の継続・充実）

（４） 時代に対応した新しい学校文化の構築

- ① 現状維持にとらわれない創造的な教育活動の創出（学校評価、調査結果等を活用しての改善）
- ② 学年業務や部活動業務の分担の明確化による校内体制づくり（業務分担の確実な実施）
- ③ 保護者・地域との連携強化（教育活動参観による評価や外部人材活用）
- ④ 教師の健康と生徒に向き合う時間の拡充のための主体性のある業務効率化